コース立方体組み合わせテスト

日本語・実施確認／採点確認／結果・構成過程記録　　A4縦・4ページ

> 本資料だけでは正式な実施・IQ算出はできません。
> 正規の模様図版・立方体・記録用紙・使用手引を併用してください。標準刺激、逐語教示、各問の配点・制限時間表、換算・修正表は未収録です。

日本版：大脇義一／三京房。原版：S. C. Kohs。公式案内の手引名は「使用手引（改訂新版）」。本資料は公式版・検証済み翻訳ではありません。

対象者ID：_____　評価日：____年____月____日

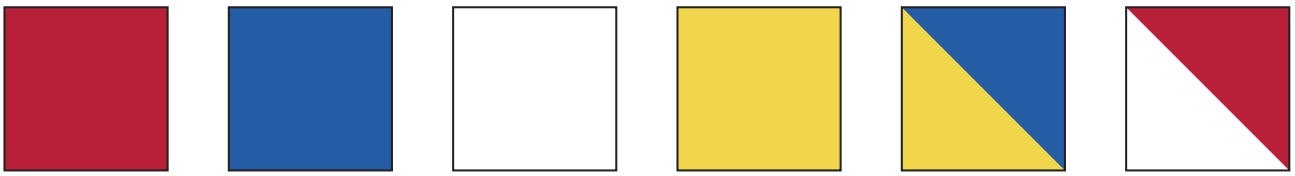
評価者：_____　使用手引の版：_____

1　開始前に確認する

用具	正規図版（本課題17枚＋練習用）、立方体16個、正式記録用紙、使用手引、計時用具。
受検者	本人が操作する実技検査。家族の代理回答は用いない。課題理解、視覚・色の識別、上肢操作、疼痛・疲労を確認。
条件	机上の見やすさ、座位、眼鏡、使用手などを記録。配置・提示・教示は使用手引に従う。

2　立方体の「面」を理解する

独自の用具説明図。1920年原著に記載された6種類の面を示す。展開図・課題図版・製作用寸法図ではなく、印刷して検査刺激に使わない。



赤　青　白　黄　青・黄　赤・白

二色面は対角線で分かれる。白黒印刷時は下の色名を参照。正式実施には正規の色・寸法・仕様の用具を使う。

実施条件：眼鏡／使用手／装具／姿勢／疼痛・疲労／説明・回答補助

家族等から情報を得た場合：氏名・関係 _____
情報は背景把握に使用。本人の実技反応・正式得点とは分けて記録する。

実施・採点の確認

正式手引を開いて確認するためのチェック資料。独自の採点規則は設けない。

対象者ID：_____　評価日：____年____月____日

1　実施の流れ

説明・練習	手引の教示と練習を用いる。理解を確認し、練習の回数・示範・追加説明は規定を守る。
本試行	規定の図版・順序・用具配置で実施。決められた開始・終了時点で計時し、完成状況と過程を記録する。
終了	公式案内は2問連続失敗で終了。失敗の詳細定義、練習で不成立の場合、未実施分の処理は手引を確認する。

2　反応を得点へ移す前に

確認点	照合する内容
完成	色・向き・位置・構成が正式基準を満たすか。「近い」「ほぼ正解」を独自の成功にしない。
時間	所要時間を秒で記録。各問の制限時間・時間別配点に照合。時間を超えた完成への独自の加点はしない。
修正・援助	自発修正とヒント後の修正を分ける。示唆・操作介助・条件変更があれば内容を記録する。
未実施・中断	規定終了と体調不良・疲労・拒否・操作困難等による中断を分ける。未実施を一律に失敗扱いしない。
総得点・換算	正式記録用紙・手引の計算と換算・修正表を使用。成功数をIQにせず、実年齢を独自に代入しない。

原版と現行日本語版を混ぜない。
原著1920年は最高131点と記載。原著の時間・移動回数の採点や換算を、現行日本語版の確定規則として転用しない。本資料は現行手引の全配点・欠損処理を検証した採点表ではありません。

今回、手引で確認した箇所・ページ／残る疑問

標準条件が成立しない場合：観察所見と条件を残す。正式IQとしての解釈が可能か手引と専門職間で確認し、算出保留なら理由を明記する。

全17問の結果記録

正式用紙と照合する記録欄。図版・配点表の代替ではありません。

対象者ID：_____　評価日：____年____月____日

判定欄には実際の状況を記入。正式得点は正規用紙・手引で算出して転記します。未実施・中断理由を得点欄の独自コードで置き換えません。

問	時間（秒）	判定・実施状況	正式得点	援助・逸脱・所見
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				

終了した問・理由

未実施／中断の理由

正式総得点（確認後に転記）

IQ・換算表の版／算出保留理由

時間・得点の転記確認者：_____

構成過程と生活への申し送り

以下は独自の観察・支援計画欄。正式な採点項目ではありません。

対象者ID：_____　評価日：____年____月____日

見る視点	具体的に記録する行動
見比べ・方略	見本に視線を戻す、全体から取り組む、一部を繰り返し確認するなど。
修正	自分で気づいて直す／同じ操作を繰り返す／示唆の後に直すなど。
操作・条件	使用手、把持・回転・置き直しの負担、疼痛、視覚・疲労の影響など。

観察事実：問番号と具体的な行動（解釈と分ける）

解釈・限界：認知面／視覚／理解／運動／条件変更など

生活で確認する課題・援助方法・再評価条件

正式資料との関係・出典

本資料はSTROKE LABの独自編集資料です。標準図版・練習図版、逐語教示、各問の配点・制限時間表、IQ換算・修正表は未収録。掲載・Web再配布の許諾は確認できていません。正式実施には下記の三京房の正規製品を使用してください。

[1] 三京房．コース立方体組み合わせテスト（日本版作成：大脇義一）．
https://www.sankyobo.co.jp/akohs.html
[2] Kohs SC. The Block-Design Tests. J Exp Psychol. 1920;3:357–376.
https://doi.org/10.1037/h0074466 ｜ 公開先：https://zenodo.org/records/1793587

確認範囲：公式公開案内・1920年原著。現行日本語版手引全文は未確認。独自図は用具説明のみ。第三者の公式用紙・標準図版の転載は行っていません。